

第3回委員会に向けた事前意見の集約

第3回委員会に向けて事前に各委員からいただいた主な意見は下記のとおりです。

末尾の【 】は資料3への主な反映先を示したものです。

○第1回・第2回策定委員会で言い足りなかったこと

- 豊かな人間性と多様な個性を育むために、家庭、学校、地域が一体となって文化・歴史に触れる機会を作ることが重要。【**誇り**、**戦略1**へ】
- 長岡の誇りをもち、郷土愛を育てることで、進学で県外・市外に行っても「戻ってきたい」と思って実行してもらうことが重要。そのために仕事・子育て環境を充実させる。【**誇り**、**魅力**、**戦略1・2**へ】
- 地域づくりは人材作り、この一点だと思う。自分が意見を言える場があるうちに、次の人材を育てたい、一緒に考えたい。【**戦略1**へ】
- 人が人として生きていく為の方策を考え、いかに「生きる力」を育てられるかが重要だと思う。【**たくましさ**へ】
- 長岡の魅力の世界発信すると同時に、受け入れ環境の整備を整え、移動人口の利便性を高める必要がある。【**つながる**、**戦略5**へ】
- 少子高齢化の進む中で子育ての支援について、子どもを産むのは女性だけであるが、育てるのは女性だけではなく、男性も女性も地域でも社会全体で育てることができます。子育て施設環境に合わせて、私たち市民の意識や価値観を変えることが必要だと思います。(例:職場環境の見直しなど)【**戦略8**へ】
- 高齢者の生きがいに産直市場が精神面、健康面に非常に役立っている。(定期的に野菜の栽培法の勉強会を開き、自分で育て出荷している。)【**多様性**へ】
- 経済や開発による発展と、自然保護や環境面でのバランスが保たれることが重要。長岡市は生ごみからバイオガスを発生させ発電に利用する再生可能エネルギー対策では全国最大規模でモデルとなっている。さらにリデュース、リユース、リサイクルが徹底される循環型社会の形成が必要。【**まちと自然**、**戦略6**へ】
- 総合計画の場合、実施計画がついてきますので、どうしても実現可能性を意識する必要があると承知しておりますが、30年後、50年後に向けての夢があったら、明るいものになるかと思えます。【**前**へへ】
- 総合計画と総合戦略の関係を明確にし、検討過程での調整が必要と考える。【**当日説明**】

○将来像・計画の柱に対する提案

<意見1>

将来像

- 夢・未来・絆 ～「希望と活力と誇りに満ちたまち」長岡～ 【**ともに**、**誇り**へ】

計画の柱

- これからの夢を共に描き、住みやすく、暮らしやすく、働きやすく、多世代志民(市民)の共生と地域間の融合される仕組み【**戦略2・3・8**へ】

<意見2>

将来像

- 共に助け合い支え合う、笑顔があふれるまち【**ともに**、**多様性**へ】

計画の柱

- 世代を越えて、地域がつながり、笑顔で快適に暮らせる災害にも強い環境づくり【**戦略6・7・8**へ】

<意見3>

将来像

- たくましい子どもを育てるまち【**誇り**、**たくましさ**、**前へ**へ】

計画の柱

- 長岡市内全ての小中学校共通の目標として、「たくましさ」を掲げる。【**戦略1**へ】

<意見4>

将来像

- 各方面に育っていく子どもたちが、自分の育った町を誇りに思う人材づくり【**誇り**、**たくましさ**へ】

計画の柱

- それぞれの場所、立場で活躍する人材をつくる。それぞれの地域がそれぞれで輝く、それが長岡の「力」になる。【**戦略1・8**へ】

<意見5>

将来像

- 好きです長岡 望む人生かなうまち【**誇り**へ】

計画の柱

- 米百俵の精神は長岡の誇り～仕事環境や育児環境が活性する仕組み～【**戦略2・3**へ】

<意見6>

将来像

- 多様な生き方を応援する社会環境を育てるまち【**多様性**へ】

計画の柱

- 子どもを産み育てる社会環境の整備(長岡市子ども子育て支援事業計画をやると、男性も女性も「仕事・家事・育児を両立させたい」という希望に対して、現状は男性は仕事、女性は家事・育児を優先しているとあります。これらのことから職場環境の見直しと性別役割分業意識を変えることが必要と思います。)

【**戦略8**へ】

<意見7>

将来像

- 故郷(人と土地)を自慢したくなるまち【**誇り**、**まちと自然**へ】
- 誰もが長岡の広告塔になりたくなるまち【**つながる**へ】

計画の柱

- つなぎつながるまちづくり～赤ちゃんから高齢者まで、ともに連綿と暮らしたい～(自分自身が伝達のツールになること)【**戦略4・5・8**へ】

<意見8>

将来像

- ネオ長岡圏、力強いネットワークを外へ世界へと広げるまち【**つながる**へ】

計画の柱

- 産業・文化・教育の交流を促進し、新たな価値を生み出す。(地域と)【**戦略3**へ】
- 姉妹都市から連携都市へ、世界と力強く結びつく【**戦略5**へ】

<意見9>

将来像

- 地域の文化・歴史を継承・創造するまち【**誇り**へ】

計画の柱

- 子どもたちの文化・芸術体験や表現教育を推進する仕組みづくり【**戦略1**へ】

<意見10>

将来像

- ユニバーサル・デザインのまち【**多様性**、**つながる**、**前**へへ】

計画の柱

- 言語で説明する、ITでアクセスしやすく、世界からの訪問者が来やすく、デザイン力で分かり易くする。【**戦略8**へ】

<意見11>

将来像

- 生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現【**健やか**へ】

計画の柱

- (1)子ども (2)高齢者 (3)障害者 (4)健康づくり (5)地域で支え合う福祉のまち【**戦略4・8**へ】

<意見12>

将来像

- 自然と共生でき、利便性にもすぐれたまち【**まちと自然**へ】

計画の柱

- 産業と教育が連携し、卒業後の受け皿となる企業があり、若者を定着する仕組みづくり【**戦略2・3**へ】

<意見 13>

将来像

- 大空に咲く花火のように市民の誇りが息づくまち【誇りへ】
- まちなかの洗練と山川海の安らぎが一緒になって暮らしを包むまち【まちと自然へ】
- 世代を越えて米百俵の精神を受け継ぎ人と産業が育つまち【誇り、魅力へ】

<意見 14>

計画の柱

- 仕組を自由に造りだせるための若者参加型の仕組(柱)【戦略2・3へ】
- 若者や学生のための短期策定会議【戦略2・3へ】

<意見 15>

将来像

- より子育てがしやすく、若者が暮らし続ける長岡市とする【魅力、前へへ】

○その他自由意見

- 一人一人が自分の周囲を見守り、見守られる関係が築かれるまちづくり【ともにへ】
- 災害時に地域で協力し、情報が共有出来る仕組をつくる。【戦略1・7へ】
- 人口減を見据えて、将来的に税収が減っていく中で、インフラの整備保全が成り立つ、快適なまちづくりのあり方を長いスパンで考えて、準備していく必要性を感じている。【戦略6・7へ】
- 熱中感動夢づくり事業という、素晴らしい長岡固有の教育プログラムを持ち、更に一層の成果を挙げるためには、全ての教員が長岡市採用にすべきだと思います。【前へ、戦略1へ】
- グランドビジョンや志を共有した上で、具体的な行動計画(ミーティング・意見交換会など)として、10年後の長岡市を支え、発信する若者や学生に10年後のゴールとししないで、変化に対し、その時々に対応する行動の柱を新たに設けてはいかがでしょうか。(例:第〇期若者ミーティングなど)【戦略2・8へ】
- 未来を創っていくのは若者世代。若者が豊かに暮らせるまちづくりを。高齢者をないがしろにすることではなく、若者への投資は豊かな長岡を創っていくことだと考える。【魅力、ともに、多様性へ】
- 質の高い健康・福祉環境の整備、花火、錦鯉など文化のアピール、ものづくり、農業関連産業の面的な連携、コンパクトシティを含め地域間の融合など自然、文化、産業など長岡の強みを更に発展させる取組を継続していただきたい。【前へ、戦略3・4・5・6へ】
- 長岡市のそれぞれの計画策定にあたっては、現状を解決する方向への施策が盛り込まれていると思うので、指標はもちろん、それらのデータを提示してほしい。(現計画のデータで可)【当日説明】
- バス路線と駅が、言語で理解できなくてもナンバーで表示、料理メニューを写真入りで表示、イスラム訪問者へも提供できるハラル表示。(山古志多菜田の食はイスラム食に近い)【戦略8へ】
- 多人数の会議で時間の制約もあり、会議を有意義にするには会議運営の工夫が必要である。

【当日説明】

第3回策定委員会のための振返り資料

第1回・第2回委員会での発言

将来像・計画の柱の視点

政策分野

- 男女ともに能力・個性を発揮できる男女共同参画を計画に反映したい。
 - 将来像に「共に」という言葉を入れると良いのではないかな。
 - この先10年は「ともに暮らしていけるまち」が理想と思う。
- 子供を支える大人たちの社会教育を、いかに特色を持たせるか。
 - 良い先生が採用されるように長岡市が教員を採用して欲しい。
 - 教育・文化の施策の柱「たくましく」という言葉を入れて欲しい。
 - 子どもが主役となるようなビジョンを持つべき。
 - もっと大学を活かして若者を増やすという政策を考えても良い。
 - 人の温かさやたくましさは長岡の誇れるもの。
- 子育てする環境が極めていい。
 - 製造業で若者が定着しない。若い人が喜んで住むまちにしたい。
 - 子供・若者・次世代の子の意見をどう取り込むか。
 - 長岡の現状の印象や将来について、学生に聞く機会を設けて欲しい。
 - 地方で育った人材のオリジナリティは高い。戦略的な子育てや大学進学を考えると、可能性が見えてくる。
- 結婚を機に長岡に移住し、中山間地の暮らしや魅力を発信している。
 - 花火をこれからの夢を描けるまちづくりに役立てたい。
 - 長岡市は素晴らしいものづくり、農産物、山・海等の観光資源がある。
 - この10年で獲得した多様性や流動性をどのように強固にしていくか。
 - 空き教室は地域の財産。
 - 11市町村の地域独自の宝も大事にしつつ、横のつながりも連携も大事にしていきたい。
 - 今あるものを未来に向かって発信すべき。光るものはいっぱいある。
- 高齢者の活躍方策を検討していきたい。
 - 海外から研修員が多く来ているが、どのように活かすか。
 - 長岡市は、医療の質が全国からみても素晴らしいまちである。
 - 高齢者がかなり多いが、施設に入ろうとする人は少ない。
 - 元気な、もしくは支援が必要な高齢者数の推計は、非常に大事。
- 震災を体験していない若い世代に田向けた防災の教育と地域コミュニティにつながるような取り組みが必要。
 - 中越大地震のとき、もう翌日には自分たちで地域ごとにまとまって食料を確保し、自分たちで生きる取組をした。自然との共生が大事。
- 食品加工業者や観光と連携した農業も必要である。
 - 交流人口を増やすため、観光の発展を検討する必要がある。
 - 産業の活性化を図る、強い長岡をつくるということを次期計画にしっかり盛り込んで欲しい。
 - 民間を活用し活性化しなければ、地方創生は成し遂げられない。
- 都市間競争を前提に考えれば、いかに住みやすいか、いかに産業があるかをメインにすえてもよい。
 - 長岡の魅力は、都会性と田園性がミックスされていることである。
 - 都市部をコンパクトにして、農業や自然との土地利用との折り合いをどう付けていくか。
 - 中心市街地の都会的な魅力にもっと磨きをかけなければいけない。
 - 若者にとって働く場として魅力があるということをぜひ訴えていきたい。
- 中越地域全体の発展のために長岡がどういう役割を演じていくのか。
 - 11市町村の地域それぞれに、見合った地域目標があってもいい。
 - 「地域」や「旧市町村」を言っていると長岡はいつまでもバラバラのままに感じる。
- 意見聴取やアンケートで市民の声を集めることも大事なことである。
 - 何を指し市外・県外・世界に対して発信していくのか。
 - 法定計画でない中で新たに策定することの意味を、計画に込めたい。
 - 事業評価の達成目標の基準・目標値の根拠が曖昧だったりする。
 - 長岡の悪いところや弱いところは何なのか、きちんと整理すべき。

- 「共助」型の長岡市としていくべき
- 継続してたくましい人材を輩出し続ける
- 子どもや若者が暮らし続ける長岡市とする
- 長岡市と各地域の魅力を発信する
- 長岡市の多様性を活かし組合わせ磨いていく
- 質の高い健康・福祉環境を生かしていく
- 復興の歴史を継承し、強いコミュニティをつくる
- 競争力ある長岡の産業を再興する
- コンパクトでより魅力の高い都市とする
- 都会性と田園性、各地域の魅力を融合する
- 市民にわかりやすい計画づくり

- 市民力地域力
- 教育
- 子育て
- シティプロモーション
- 健康福祉
- 防災
- 産業
- まちづくり
- 行政運営
- 政策評価